

アスリートが
伝える
京都



東京2020大会で自分の力を100%出して
「1番」を取れたら最高です。



BMX選手

中村 輪夢さん

BMXとの出会いを聞かせてください。

父親がBMXライダーで、BMXショップを
経営していることから、生まれた時からBMX
が身近にありました。2歳頃から自然に乗る
ようになり、5歳からキッズクラスの大会に出
場するようになりました。全日本選手権や国
際大会で活躍する強豪ライダーが出場する
国内のメジャー大会のジュニアクラスで優勝
したのは、14歳の時。2018年からシニアクラ
スで「FISEワールドシリーズ」に参戦し、
2019年の「FISEワールドシリーズ」のUCI
ワールドカップ第3戦、フリースタイル・パー
クで優勝しました。



写真提供 / NaokiGaman / ファーストトラック株式会社

**京都とはどのような関わりがありますか？
京都での思い出を教えてください。**

父親の経営するBMXショップが京都市内
にあり、京都はまさにホームグラウンド。中学
の時にプロに転向してからは、海外に遠征に
行ったり、年末にオーストラリアで合宿する
など、京都、日本を離れることが多くなりまし
た。今でも年末年始は必ず地元に戻り、実
家で過ごしています。元日の朝、初詣に行っ
て一年を始めるのが毎年の恒例です。

**日本、そして世界で活躍されて、改めて京都の魅力を
感じることはありますか。**

国際大会に出場し、海外のライダーと交
流した時、「京都出身」だと言うと、それだけ
で話が盛り上がります。改めて世界でも京都

や日本の文化がよく知られていることに驚き
ますね。海外のライダー仲間が日本に来た
時には、清水寺や伏見稲荷を案内すること
も。みんなとても喜んでくれます。アテンド
することで海外のライダーと親交が深まるの
で、そんなまちが地元であることに感謝して
います。

また僕自身にとって京都の魅力は、リフ
レッシュできる場所が多いこと。嵐山の川沿
いや竹林がお気に入り。ゆっくり歩くと、自然
と気持ちが鎮まります。

**くらしの中で文化や芸術に親しんでいることがあり
ましたら教えてください。**

競技をする上でも欠かせないのが、音楽で
す。特に京都出身のラッパー・ANARCHYさ

んの楽曲が大好き。ふだんの生活ではもちろ
ん、BMXにライティング中も聴いています。

**今年いよいよ東京2020大会が開催され、世界中
から多くの人が日本にすることが予想されます。**

東京だけでなく、少し足を延ばして京都に
も来てもらえたら嬉しいですね。ぜひ京都で
日本の歴史を感じてもらいたいです。

**東京2020大会でBMXフリースタイルが初めて
正式種目となり、中村さんの活躍が期待されてい
ます。意気込みを聞かせてください。**

自分の力を100%出し切って、悔いのない
走りをするのが目標です。もちろん出場す
る以上は、「1番」を目指していますが、ベスト
を尽くした上で結果がついてくれば、最高

ですね。一番練習したライダーが勝つ。そう
信じて本番まで誰よりも練習しようと思っ
ています。

中村 輪夢(なかもら・りむ) 2002年、京都府生まれ。
2歳でBMXを始め、5歳で大会に初出場。2015年に
「FISE World 成大会」(アマチュア部門)で優勝した
のを皮切りに、2016年「RECON TOUR」(13~15歳ク
ラス)、「PERUGIA CUP」 「G-Shock Real Toughness」
で優勝を果たす。2017年、「UCIアーバンサイクリング
世界選手権」7位、「第1回全日本BMXフリースタイル・
パーク選手権大会」優勝。2019年、「UCIワールド杯広
島大会」準優勝、「UCIワールド杯中国大会」で優勝し、
同年の「UCIワールド杯」の年間総合優勝を獲得。